



来年の春ごろには特許権取得の有無が決まる『カクメロ』

6 8 困 四角いメロン『カクメロ』 特許出願

愛知県立渥美農業高等学校が研究開発した、四角いマスクメロン『カクメロ』の栽培技術に関する特許の出願書類が、特許庁に受領されました。成型で光を通さない手製の鉄枠を使用しながら糖度を維持させる技術で出来たメロンは、種のある部分も四角くてビックリ！味は普通のマスクメロンと同じです。先生・生徒たちは『カクメロ』の特産品・ブランド化を進め「地域農業の発展に」と力強く語ってくれました。



発掘された窯跡の説明を熱心に聴く参加者

5 27 田 渥美半島最大規模 ニツ坂古窯跡

田原町内で発見されたニツ坂古窯跡で現地説明会を開催しました。ここでは、平安時代末期から鎌倉時代初期にかけて、壺つぼや甕かめ、碗わんなどを焼いた未使用の窯1基を含む6基が発掘されました。いずれの窯も推定長さ14m～20mと大きく、これまで渥美半島で発見された中では、相川町の嶋森古窯群しぎのもりとならび最大規模。ニツ坂周辺では、これまでも9か所の古窯跡が発見されており、半島屈指の窯業地だったと推測されます。



宝物は波で角が削れた「ガラス石」きれいだね！

5 30 因 “山”の小学生 海を満喫！

友好都市・阿南町の小学5年生54名が今年は和地小学校を訪れ、同小4～6年生と海と山の小学校交流を行いました。到着後、まずは和地小学校自慢の「裏山」に登った児童たち。お互いの自己紹介や学校紹介などで打ち解け合うと、続いて行われた和地海岸での「宝探しゲーム」では、砂浜の宝物を協力して探し、交流を深めました。8月下旬には和地小学校の児童らが阿南町を訪れ、山での交流を行うことになっています。